

2024年9月12日  
日本貨物鉄道株式会社

## 輪軸組立作業における不正行為の発生について【対象件数の追加】

2024年9月10日（火）にお知らせいたしました当社の3箇所の車両所における輪軸組立作業時の不正行為およびこれの対象となる車両数について、9月11日（水）に不正行為の有無の確認が終了していない車両があることが判明いたしました。また、この確認を行うにあたり、安全確保のため、一時的に全貨物列車の運転見合わせを行いました。

連日にわたり、お客様をはじめとする関係の皆様にご迷惑・ご心配をおかけしておりますこと、深くお詫びいたします。あわせて、今回の不正行為により、皆様からの信頼を損ねることとなり、重ねてお詫び申し上げます。

## 記

### 1. 経緯

2024年7月24日（水）に発生した山陽線新山口駅構内での貨物列車脱線事故を受けて、9月6日（金）に関西支社広島車両所内において輪軸\*組立作業の確認を行っていたところ、社員からの申告により、車輪及び大歯車の圧入作業\*\*において、圧入力基準値を超過していた場合、検査結果データを基準値内のデータに差し替えて、検査を終了させていたことが判明しました。他の車両所についても社内調査を行ったところ、圧入力基準値を超過した状態で、検査を終了させていたことが判明しました。

9月10日（火）には対象車両の運用を停止いたしました。翌11日（水）に再度、調査を行ったところ、前回の調査において、不正行為の有無を確認していない車両があることが判明しました。これにより、不正行為の対象となる車両数については、計631両となりました。

\* 車輪や大歯車などを車軸（円柱形）に圧入して組み立てたもので、車両の荷重を支える部品

\*\* 車軸（円柱形）に、車軸の外径よりわずかに小さい内径の穴が中心にある車輪や歯車を嵌め合わせ、両者を締結する作業

### 2. 内容

#### (1) 発生箇所

北海道支社輪西車両所、関東支社川崎車両所、関西支社広島車両所

#### (2) 内容

①北海道支社輪西車両所

圧入作業において、圧入力が基準値を超過しているにも関わらず、検査データを検査記録表に添付し、検査を終了していました。

②関東支社川崎車両所

圧入作業において、圧入力が基準値を超過した場合、検査記録表に基準値上限の数値を記入し、作成していました。

③関西支社広島車両所

圧入作業において、圧入力が基準値を超過した場合、検査結果データを基準値内のデータに差し替えて、検査記録表を作成していました。

(3) 件数

①北海道支社輪西車両所 貨車 319 両 (9月10日時点：309両 (+10両))

②関東支社川崎車両所 貨車 275 両 (9月10日時点：218両 (+57両))

③関西支社広島車両所 機関車 4 両、貨車 33 両

(4) 背景

いずれの箇所においても、作業担当者は、圧入力値が基準値を下回った場合は、車輪及び大歯車の固定に不具合が生じる可能性があるとして認識していましたが、基準値を若干超過する分には問題が無いものと認識していません。

### 3. 当面の対応

(1) 検査結果データが基準値を超過していた輪軸を搭載した車両(機関車 4 両、貨車 627 両)は運用停止といたしました。今後、可及的速やかに車軸の検査を実施します。

(2) 今回、不正行為を行っていた車両所における輪軸組立作業は、作業体制を再整備するまで作業を停止します。

### 4. その他

(1) 山陽線新山口駅構内で発生した貨物列車脱線事故の脱線車両にも、検査結果データが差し替えられていた輪軸が搭載されていました。なお、脱線の原因については、運輸安全委員会において調査中です。

(2) 9月11日(水)に不正行為の有無の確認作業のために行った一時的な運転見合わせにつきまして、現在は全列車の運転を再開しておりますが、大幅な遅れと一部運休が生じております。

以上